
泣き虫オッサン恋物語

さや

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

泣き虫オッサン恋物語

【Nコード】

N3853T

【作者名】

さや

【あらすじ】

どうしようもなく泣き虫でチビデブハゲの三重苦のオッサンが、ようやく好きになった女性は30歳も年下だった。そんな話。

相談人、オッサンドル・マニスター（48）。

Q・どうしてワシには嫁がないんじゃない？

回答者、使用人一同。

A1・チビでデブで天辺ハゲだからじゃないスか。

A2・いい年したジジイのくせに、すぐ泣いて鬱陶しいからだと思います。

A3・というか、50近い加齢臭するオッサンのくせに未だに嫁が欲しいとかキモい。

A4・言えてる。そもそも自分の顔見てモノを言えって感じよね。
。

A5・これで金が無かったら終わりだよな。

う…：うおーん！お前らなんか嫌いじゃーッ！家出してやるうー！

あ、旦那様。夕食までには帰って来て下さいよー。

うおーん！

~~~~~

ひえーっ、カツアゲじゃー！い、痛い痛い！やめとくれー！

…お、おう？なんじゃ、本当にやめおったわい。案外、悪くない

若者だったのかのー。

と、思ったら何じゃ喧嘩じゃー！。背の高い長髪の若者が乱入して来ただけじゃったよ。

しかし、強いのが。5人を相手にバツバツと、こりや何とも爽快じゃ！

いいぞい！もっとやれーい！そこじゃ、右じゃ、アッパーじゃー！うっほほー！

ほっほーう。結局、あつという間に全員気絶させてしもうたわい。格好良いのう。

ん、何じゃ？大丈夫かって。

…え？何と！ワシを助けてくれたのか！

おお、今時何と素晴らしい若者じゃー！感激じゃー！

と、思っおなこて抱きついたら殴られたわい。どうも女子だったようでのう。

ワシの背が低いせいか、調度良い具合に顔が胸に埋まって…ありやEはあったのう。うひひ。

わー！二発目は勘弁じゃよー！お前さんの拳はやたらと痛いんじやー！

レイという名の若者は、聞けば天涯孤独の身の上だそうでのう。

そ・こ・で、じゃー！ワシはお礼がわりに、レイをワシの屋敷に連れて帰る事に決めたぞい！

なぜか即行で断られたが、必死に足に縋りついて嫌じゃ嫌じゃと泣いて懇願したら了承してくれたわい。

本当に今時珍しい良い子じゃのー。

~~~~~

レイがワシの屋敷に来てから三ヶ月が経ったぞい。

最初こそ口を開けば帰る帰るとそればかり言っていたものじゃが、最近では諦めたようで大人しく仕事をしとるよ。

ちなみに、仕事内容はな？ワシのボデーガードじゃ。

口の悪い使用人たちは子守がどうか言うところだが、正真正銘ボデーガードなんじゃ。

まー、怪しい奴は狙撃班が先に排除しとるから、彼女に仕事があることは滅多に無いがの。

そういえば、初めて仕事をしとるワシを見た時、レイには珍しくポカンとしとったぞな。

そのあと、笑顔で『普段はアレだけど、仕事中的オッサンは格好良いんじゃないの』と言ってもらえて、有頂天になって抱きついて殴られたんじゃない。懐かしいのう。

ところで、普段はアレの『アレ』ってどういう意味なんじゃろ？

~~~~~

レイが来てから半年が経ったぞい。

何だか、最近ワシおかしいんじゃない。急に不整脈になったり、心臓の動悸が激しくなったり…。

病気になるか？病院に行って精密検査を受けてみるべきなのかなのう。

思えば、レイと一緒にいる時にその症状が出やすい気がするが、何か

関係あるんじゃないか。

気になって、お抱えの医師に見てもらったら『恋の病』じゃと診断されたわい。

なー！なんじゃとてー！ワシが恋じゃとてー！？

あつ、相手は誰じゃ！…って、レイしかおらんじゃないか。

うーむ、どうしたもんかのー。ワシとレイは年に30も開きがあるんじゃない。

こんなジジイに好かれてもレイは迷惑じゃろうのー。どうしたもんかのー。

~~~~~

恋心を自覚したワシは、それからレイとともに目も合わせられんようになつてしもうた。

懸想しとる事がバレて気持ち悪がられたら、ワシ立ち直る自信ないんじゃない。

そしたら、数日経つたある夜にレイから話があると呼び出されたのじゃ。

レイは怒った顔をして『何で、最近俺を避けてるんだ？』とワシに聞いてきた。

どう言つたものか分からんのう。黙っておつたら、レイは痺れを切らしたようで『もういい！』と言って駆けて行つてしもうた。

その時、レイの頬にうつすらと光るものが見えたんじゃない。

ひょえー！泣かせてもうたあ！何でじゃ！何でこうなるんじゃない！

こうなったら臆病になつとる場合じゃないわい！

追うんじゃ、ワシ！ハアフウ、ゼエゼエ！

うつ、もうどこにも見当たらん！なんちゅー足の速さじゃ！レイ！レイー！

ぎゃふっ！転んでもーた！ひー、痛い。痛いのじゃー。

レイー、戻つて来ておくれー、レイー。

うー、グスングスン。情けなさで痛さで涙が出るわい。うー、レイいい。しくしく。

しばらくその場で蹲つて泣いておると、誰かがワシの頭をぺチンと叩きおつた。

誰じゃあ、ワシは今傷心なんじゃー。

つて、ワシを叩くのはレイぐらいしかおらんじゃないか！

レイ！戻つて来てくれたんかー！レイー！

感極まつてレイに抱きついたんじゃが、その時は珍しく殴られなかつたんじゃ。

レイ、レイー、誤解なんじゃあ。ワシはただ、レイに嫌われとうなくて。ううー。

好きなんじゃー。年甲斐も無く、レイを好きになつてもうたんじやー。

怖くて言えんかつたんじゃー。ワシを捨てないどくれー。レイー。レイい。ぐすぐす。

情けなく泣き続けるワシにレイはため息を一つついて呆れるように『つつたく、オッサンはホントどうしようもねえなあ』と言つたんじゃ。

そのすぐ後に、ワシのツルツルの頭の天辺にチュという音と共に

柔らかい感触が…。

ふおおおう！ま、まさか今のはっ…！レ、レ、レ………ッ！？

で、気付いたら朝じゃった。どうも、興奮しすぎてあの直後気絶してしまっただけのじゃー！

何とも勿体ない事をしてしまったわい。初めてイイ感じのムードになったのにー！

惜しいのー！

改めて告白し直すと、レイは『おう』とだけ返事をくれたのじゃ。それでも充分嬉しかったワシは思わずレイに抱きついたんじゃが、なぜかいつものように殴られてしまった。

何でなんじゃ、レイー。気持ちを通じたんじゃなかったんかー。ううう。

~~~~~

それから一年後、ワシとレイは無事に結婚するに至ったんじゃー。うひょひよ。

レイに頼まれたから、金はかけずに身内だけで式を挙げることにしたぞい。

二人の門出を祝うような青天の中、使用人たちの祝福の花を受けて白い道を歩いたのじゃ。

わーわー！

一応、おめでとございます。旦那様、奥様ー！

お金を積んで美女を買ったようにしか見えません、旦那さまー！

30も年下とか犯罪臭いッス、この変態ー！

奥様ー、考え直すなら今の内ですよー。  
そうです、レイ様。俺とかどうですかー。  
わーわー。

相変わらず使用人たちの主人を主人とも思わない酷い言葉が聞こえてきたけども、ワシ今とってもハッピーじゃから気にならんもん  
つ。

こうして最愛の妻を得たワシは、その生涯を閉じる最後の時まで、それはもう幸せーに暮らしたんじゃようー。

めでたし、めでたしじゃ。ほっほーう。

**（後書き）**

**備考**

オッサン（48）∴身長162センチ。体重79キロ。

レイ（18）∴身長184センチ。体重63キロ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3853t/>

---

泣き虫オッサン恋物語

2011年10月9日00時22分発行